

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成28年11月20日発行

No.120



(平成27年:第48回文化文政風俗絵巻之行列)

初回から昨年までの参加者数は、1万1千人以上になります。
多くの方々の協力によって続いてきたこの行列も、まもなく半世紀を
迎えます。

小笠原美雪

信州伊那アルプス街道 木曾風景街道交流会に参加して

妻籠宿案内人の会会長 原 修 己

9月28日、景観保全や地域づくりに取り組む木曾と伊那の交流会が伊那側の主催で開催されました。

国道361号線が権兵衛トンネルで結ばれたことを機に両地区の連携を深めようと企画されたものです。昨年に続き2回目の開催です。生憎の雨の中、両地区から45名が権兵衛峠に集まり視察研修が始まりました。

権兵衛峠は、ご存知のように約300年前の元禄年間に古畑権兵衛が峠を人馬が通行できる街道として整備したもので、伊那からは、米を運ぶだけでなく、助郷として人馬が駆り出され、通行した道でもあります。峠の分水嶺では江戸中期から水利権をめぐる西箕輪南部地域と小沢川下流域との争いが絶えなかったとのこと。どの地域においても水利権は死活問題であったことがうかがえました。峠を下り、南箕輪に入ると視界が開け伊那谷が一望でき、素晴らしい景色が望めました。その後、青島地区の黄金色に染まった広々とした田園は、素晴らしい景観で思わず目を奪われました。代表を務める岩田さんから、立て看板や商業施設が一つも無いと誇らしげに話されましたが、景観形成住民協定を今後、守っていく上で後継者等の問題点も指摘されました。

さらに、説明を受けながら高遠の街を散策しました。久し振りに訪ねての印象は、町並みがきれいに整備されていたことです。古い伝統、文化を取り入れながら新しい町並みを造ろうと取り組んだとのこと、看板・建物の高さ等が統一され整然と町並みが造られていました。住民が主体となり、景観を守るために住民憲章を結んだ個所が、上伊那地区で30もあると聞き驚きと共に意識の高さを感じました。

盛り沢山の研修で全部は報告できませんでしたが、案内して頂いた方々の地域を盛り上げようとする情熱を感じることができました。これからも、木曾路、伊那路が権兵衛トンネル開通を機に一層交流が深まることを願い帰途につきました。



〈伊那・木曾交流会〉

有松重伝建選定される！

常務理事 藤原 義 則

「有松絞り」で有名な有松の町並みが平成28年度111番目の重伝建に選定されました。おめでとうございます。

昭和49年に「今井町を保存する会」「妻籠を愛する会」「有松まちづくりの会」の三者が「町並み保存連盟」を発足させ、昭和53年「第1回全国町並みゼミ」が足助町と有松で開催されました。有松が本年重伝建の仲間になったことは、この時の足助・有松・今井町・妻籠がそれぞれ重伝建に選定され保存されていくことになり、各々が努力されてその価値を認められたわけです。喜ばしい限りです。

10月2日に開催された記念式典では、妻籠宿保存地区保存審議会委員でもある名古屋市立大学教授溝口正人先生が「建物調査から見た有松の町並みの価値」と題して選定経過報告をされました。妻籠は、保存工事が始まりまもなく50年。これを機に保存開始の頃を振り返り、保存の意義と目的を再度かみしめたいと思います。



〈有松山車まつりと
祝賀会〉



妻籠地区環境整備活動

妻籠愛友会 藤原 崇道

私たち愛友会は、これまで妻籠宿の歴史についての学習会・文化祭での発表、演芸鑑賞会など年間を通して様々な取り組みを行ってきました。

過去には、壮年部が桜の剪定作業などを行ったこともありました。今年度は、これまでの壮年部の活動に倣い、妻籠地域の良さや再発見・会の士気を高めていく一環として環境整備を計画しました。

今回は、観光協会より依頼のあった馬籠峠～大妻籠付近までの中山道沿いのゴミ拾いや刈払い作業を実施しました。当日参加した会員は、6名ほど。天候不順が続く中、ちょうど天気恵まれた週末でした。馬籠峠は、マイカーで通り過ぎてしまう事がほとんどですが、中山道を歩いたのは実に何十年ぶりでしょうか。地元にながら、とても新鮮に感じました。外国人ハイカー中心に何組もすれ違い、観光客の往来が活発な所ですが、ゴミはほとんど無く、実に綺麗に整備されているように思えました。

しかし、道路沿いや川沿いには、空き缶やゴミ袋などが沢山捨てられていました。今後は、峠道路沿いのゴミ拾いが新たな環境整備の目的場所になると思いました。峠を出てから2時間、ゴールの第3駐車場までおよそ5kmの道のりでした。作業をしながら下る事はなかなかハードなものでしたが、達成感で満ち溢れました。

愛友会の歴史は妻籠宿保存と共に歩んでいます。その歴史は、半世紀近くに及び、風俗絵巻之行列の花嫁行列等、現在は、壮年部から青年部に引き継がれながら続けています。今後も会員一同妻籠地区の歴史について、新たな視点で勉強や研究などを重ねつつ、より有意義な活動をしていきたいと思ひます。



〈一石橋付近を作業中〉

馬籠峠熊除けの鐘設置作業

南木曾町観光係 西尾 真一

今年も県内各地で熊による被害や目撃情報が相次ぎ、南木曾町内においても民家近くでの目撃情報が多く発生しております。中山道を歩く＝山道を歩くことにおいても熊と遭遇するリスクはいつもつきまといまひます。その対策として効果的と言われていることが「音を出し、人の存在を熊に知らせる」ことです。熊は人の気配を感じると逃げるなどして人と出会うのを避けますが、被害に遭わないようにするためには、こちらから存在を知らせることが最も効果的と言われているひます。

もしもばったりと出くわしてしまひた場合、危険を感じた熊が先制攻撃をしてくる場合があります。時期的に最も危険なのが秋口だと言われているひます。冬眠に備えて熊が食物をさがしてウロウロしているため、出会う危険性も高くなります。

ご存じのことと思ひますが、熊と出合ってしまったら、いきなり背中を見せて大声を出して逃げ出すのは禁物です。驚いた熊が追いかけてきてしまひます。静かに、ゆっくりと後ずさるように少しずつ距離を空け、ある程度離れば襲ってくることはありませひん。

もちろん一番は出合わないようにすることですが、中山道を旅する方々にとってもそんな出合ひは避けたいものです。そんな中、「熊よけの鈴をつける」「各所に設置してある鐘を叩いて鳴らすこと」は効果的です。現在、馬籠峠から庚申塚上付近に5基設置してある「熊の鐘」に加え、さらにその中でも川に近い谷合ひの一带に鐘の音が響き渡るよう、新たに4基の設置を行いました。朝夕の薄暗い時間帯は、熊の採食活動が盛んなため、より遭遇の確率が増します。さらに川の近くでは熊も注意力が散漫になり、人の気配に気がつかないおそれがあります。旅行者にはためらうことなく、鐘を鳴らして熊へ合図を送るよう、周知していきたくひと考えています。



〈9月23日熊除の鐘を設置しました〉

妻籠地区大運動会に参加して 2016.10.9

橋場区 今井美佐子

今夏はリオ五輪に、沸いたり、感動もしました。スポーツにもドラマがあり、見ていて楽しいものです。体育の日も設けられ、日頃から運動の大切さが言われています。かつて、朝早くからゴザを持って場所取りをした事からすると、年々参加者も減って淋しい限りです。今年は秋雨前線の停滞で、稲刈りも遅れがちの中、昨年同様、体育館での開催となってしまいました。中止となった地区もある中で、開催にこぎつけられ、スタッフの皆さんはご苦労様でした。老齢の私たちには運動量も少なくても助かります。

転勤族の私にとって、運動会は地域の方の顔を知る良い場でもあり、一年ぶりに会う子供さんの成長も見られる良い場でもあります。今年は特に若い方々の参加が多く、活気がありました。日頃は、子供さんと接する機会もほとんど無く、運動会で元気にとび回る姿に、私自身も元気がもらえます。スポーツ大好きな私にとって、運動が元気の源であり、秘訣かと思えます。一人では長続きしませんが、仲間がいることで、継続できますし楽しみです。何より皆で話したり、笑ったり、応援したりと、何もかも忘れて楽しめた一日でした。綱引きに、地域の総力をあげて皆で応援して勝ち得た優勝に大喜びし、皆の気持ちが一つになったものです。

終了後の慰労会でも盛り上がり、全員で記念写真にも納まり、子供たちにも良い思い出と、記念になった一日でした。何より地域の絆が深まった一日でもありました。

中町区 山下 航

私は、妻籠の運動会に参加するのは今回で3回目になります。なぜかという、私は大阪出身で、3年ほど前にこちらに引越しをしてきたからです。そして、3回目の参加となる今回は、分館の役員として運動会の準備から関わらせていただきました。

そこで知ったのは、運動会の本番の日を迎えるまでに本当に多くの方が準備に時間を費やしていたことです。具体的には、グラウンド整備や除草剤散布、景品の手配など色々です。今年は特に雨の日が続いたため、グラウンドの整備に多くの時間を費やしました。私も一緒に、本番が晴れることを祈りながら入念にグラウンドの整備を行いました。

本番当日は残念ながら体育館で行うことになりましたが、多くの人たちの支えの中で妻籠の老若男女が楽しめる運動会を運営していることに感動しました。運動会は非常に盛り上がり、子供たちも元気一杯に走り回っていました。また、みんな一生懸命種目に取り組み、競い合う姿がなんとも微笑ましく感じました。ちなみに私は、綱引きの種目がとても好きです。今回は参加しなかったのですが、いつか自分の地区が綱引きで優勝できるようにと考えています(笑)。

最後に、これからも自分の地区の人たち、他の地区の人たちと交流を深めて、老若男女が楽しめる運動会ができるように、役員・参加者として妻籠の運動会を盛り上げていきたいと思っています。そして、なにより無事に運動会を終えることができよかったです。



〈奮闘中の今井さんと準備体操風景〉



納涼会

渡島区 勝野 宏美

今年の4月に家族で大阪から引っ越してきて、初めて納涼会に参加させていただきました。

私たちも、子どもたちもとても楽しみにしていました。ずっと憧れていた流しそうめん。お父さんたちが朝から準備をしてくれた手作りの流しそうめん、さらにワクワクしながら、はじめは流れてくるそうめんをうまくつかめず、流れていってしまい、「あーあ…」と言っていました。だんだんつかめるようになると、さらに楽しくなって、お口もコップも満タンにそうめんを入れて、おなか一杯に食べました。屋台の飲み物も、カキ氷も好きなものばかりで、大人も子どもも大満足でした。

まだ少し明るいうちに、パラシュートをキャッチするのも、みんなで真剣に走り、必死に追いかけている姿はとても楽しそうでした。一人一つずつ当たるくらいの数のパラシュートを用意してくれていたのも、みんなで楽しめて、子どもたちもいい思い出になりました。

みんなそれぞれ友達と遊び、体育館でドッジボールをしたり、体を動かした後は、第2段の流しそうめんを用意してくださり、みんなで食べきれないほどのそうめんを取り、子どもたちの笑顔に私たちも嬉しくなりました。

その他にも、スイカ割りや花火、子どもたちが好きな夏の遊びを沢山考えてくださっていたので、参加したみんなが楽しく素敵な思い出になる行事だなあと思いました。また、来年は私たちもいろいろお手伝いしながら、と親子で楽しみにしています。

子どもたちが大きくなり、自分たちの子どもを連れて楽しめるように、これからもずっと受け継がれていくのを楽しみにしています。子どもたちと夏の楽しみを体験できて、とてもいい思い出ができました。

準備してくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。



〈綱引きは熱が入るね！〉



〈みんな大好きパン食い競走〉



〈大人も楽しいよ！〉



〈みんなが楽しい流しそうめん〉

妻籠宿消火栓水出し点検作業

総務委員会では、7月に開催された委員会で今年度の活動が確認されました。その中で宿場内の消火栓について毎年9月頃点検を確実に行うことを決めました。9月30日の午前中、原修己委員長以下5名で下町から寺下までの消火栓の水出し点検作業を行いました。次回は1月26日の文化財防火デーで放水訓練を行う予定です。点検と訓練だけで無事過ぎていきたいものです。



11月23日(水)は文化文政風俗絵巻之行列です!

今年は49回目を数えます。広報の発行日と重なりますので、行列の特集は次回121号となります。

今年も10月13日に実行委員会が立ち上げられ、着々と準備が進められています。今回は11月の実行委員会の準備内容をお知らせします。

- ・通行止め予告看板設置 初旬
- ・出演者締切 5日
- ・衣装仕分け準備 9日
- ・幟旗立て 14日
- ・木戸組立 21日

17日には最終確認のための拡大部長会議が予定されています。その後、瓦版・出演者名簿が各戸に配布され、地元出演者への衣装の貸出が始まります。

今年も晴れるといいですね!来年は50回の節目を迎えます。マンネリ?という声も囁かれますが、「継続は力なり」を胸に今年も皆さんで協力して盛り上げましょう!
(広報部:下枝)

〈11月9日 衣装の準備をしました〉



【昨年の文化文政風俗絵巻之行列】



宿 場 暦

- 8月 2日：有松町伝建地区指定お祝い
(理事長・常務)、長野放送撮影
3日：衣装部会、公民館建設委員会
4日：観協役員会
10日：Webサイトあり方検討会(木曾町・常務)
17日：ジパング倶楽部撮影
18日：観協役員会
19日：妻籠宿案内人の会世話人会
21日：一石栃水源整備作業
22日：統制委員会
23日：木曾地域文化遺産活性化委員会
(合庁・理事長、常務)
24日：愛宕山火まつり
25日：広報119号発行
27日：妻籠宿火まつり
31日：日本テレビ撮影
- 9月 3日：CBCテレビ撮影
6日：県公益法人立入検査
7日：ユネスコエコパーク勉強会(理事長・常務)
9日：第39回全国町並みゼミ大内・前沢大会
(～11日)
11日：妻籠地区敬老会
12日：中京テレビ撮影(～13日)
14日：木曾風景街道推進協議会役員会(理事長・常務)
15日：NHK撮影
16日：広域季刊誌プロジェクト会議(常務)
17日：妻籠愛友会環境整備作業
20日：統制委員会、日本ナショナルトラスト協会
常任理事会(東京・常務)
23日：馬籠峠熊鐘取付(7名)
25日：大井水清掃作業、タビックスジャパン撮影
27日：妻籠宿案内人の会交流会
(内子町町並みガイドの会来宿)
28日：風景街道伊那・木曾交流会(5名参加)、
広報部会
30日：消火栓点検(総務委員会・5名)、
NHK撮影(～10/2)
- 10月2日：有松地区重伝建選定記念シンポジウム(常務)
4日：衣装部会、外来植物(アレチウリ) 駆除作業
5日：理事会、外来植物拡大防止パンフレット編
集会議(広域・常務)
6日：一石栃草刈作業
7日：外国人誘客セミナー(合庁・常務)
11日：林昌寺ガラス戸譲受(春日井市)
13日：行列第1回実行委員会
17日：観協役員会
19日：エコパーク第3回勉強会(広域・常務)
20日：統制委員会
21日：環境整備作業
(セリ外ツタノヲ：環境保全委員会・観協)

25日：妻籠宿案内人の会先進地視察
(大津市坂本)、地域づくりネットワーク木
曾支部総会、テレビ朝日撮影



〈案内人の会研修：石山寺にて〉

26日：一石栃草刈作業
31日：木曾路沿道景観整備現地検討会
(木曾風景街道:2名参加)

統制委員会審議事項

8月22日		
・舗装修繕工事(県:大妻籠)		1件
・橋梁補修工事(県:妻籠橋)		1件
・木製ガードレール交換(県:256号)		1件
・仮設現場事務所設置(第2駐車場)		1件
・橋梁修繕工事(町:尾又橋)		1件
・電力保安用通信ケーブル移転(中電)		1件
9月20日		
・群状択伐(関電:妻籠地区全体)		18件
・KDDI携帯電話基地局増築(大妻籠)		1件
・開閉器・制御装置取替(中電:尾又他)		2件
・仮設現場事務所設置(馬籠峠拡幅)		1件
・臨時負荷新設申込に伴う電力供給設備の新設 (中電:下り谷、吾妻橋)		3件
・認定電気通信ケーブル移転(橋場)		1件
・地蔵沢水路取水口改良工事(町:下町)		1件
・景観整備(森林組合:軽便道)		1件
・板壁塗装(上町)		1件
・農機具倉庫除却(橋場)		1件
・土地の形質変更(橋場)		1件(保留)
・農機具倉庫新築(橋場)		1件(保留)
10月20日		
・屋外拡声子局装置更新工事(町:分館横)		1件
・大島いすぎ水路改良工事(町:橋場)		1件
・ふれあい館水切り設置・土台補修(教委)		1件
・住居修繕(大妻籠)		1件

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

第39回全国町並みゼミ「大内・前沢大会」

常務理事 藤原 義 則

9月9～11日、福島県下郷町で「大内・前沢大会」が開催され、愛する会からも6名が参加しましたので報告します。

大内宿は、昭和56年に重伝建に選定された宿場町で、寄棟造の茅葺の民家群で、近くの観音堂からの写真を目にしたことがあると思います。すぐ近くに湯野上温泉があり、東北の一大観光地で年間100万人もの人々が訪れているところです。「住民憲章」も妻籠のそれを参考に制定され、協働作業で茅葺作業を行い、景観保全に務めている地域です。

ゼミは、1日目が開会行事、各地からの報告、ブロック別会議等が行われ、歓迎パーティーでは、郷土料理を堪能しました。

2日目は、「町並み保存と活用」「人が住み続けられるまち」「自主防災と持続可能なまちづくり」「農村集落の生き残りかた」「よそ者の目で田島の魅力を掘り起こす」の5つの分科会に分かれ、各分科会で1日かけて活発な討論・討議が行われました。

3日目は総括討議、分科会報告、大会宣言の採択を行い、来年の開催地有松に引き継がれました。

後日、参加者の反省会の中で話題となりましたのは、伝建家屋の利活用が商店街兼お土産屋さんとなっており、妻籠はこれを反面教師として、心して景観保全に努める必要があるとの意見でした。理事長が、時々口にする「オートバイと若者」の頃から2世3世へと移っているとのことでした。残念だったのは、トイレが表通りから分かりづらく、一般公開家屋が見当たらなかったことです（目にはいらなかったのか?）。妻籠の本陣・脇本陣・上下嵯峨屋・熊谷家住宅の公開、伝統工芸の実演等それなりに評価できる工夫と改めて感心しました。

来年の第40回大会の開催地は、名古屋の有松です。有松は、昭和49年有松・今井町・妻籠で呼びかけて全国町並み保存連盟が発足した時からの付き合いです。また、近くですので多くの方の参加をお願いします。

[妻籠からの参加者:鈴木省吾、松瀬博敏、片山要、今井紳太郎、松林沙紀、藤原義則]



〈開会式〉



↑ 〈町並み見学〉



↑ 大内宿内風景 ↓



→ 〈歓迎交流会〉